

## 募金趣意書

### 趣 意 書

ぎふ清流国体（第67回国民体育大会）及びぎふ清流大会（第12回全国障害者スポーツ大会）が、「輝け はばたけ だれもが主役」を合言葉として、平成24年に開催されます。

両大会の開催は、スポーツの普及振興や障がい者の社会参加促進はもとより、開催準備・大会運営を通じた人づくりや、住民の連帯感の醸成などにより、地域の活性化に大きく貢献するものと考えております。また、全国から集う人々に岐阜県の豊かな自然、魅力あふれる観光地、伝統ある文化・芸能、そして県民のおもてなしの心を知っていただく絶好の機会でもあり、両大会の成果は岐阜県の未来づくりにつながる財産となることを確信しています。

現在、県内の各界各層の代表者によって組織された「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会実行委員会」を中心に、会場地市町村、競技団体等が一体となって開催準備を進めております。同時に、県民一人ひとりが「だれもが主役」となって、様々な形で両大会に参加する県民運動（ミナモ運動）を展開し、全国から訪れるたくさんの人々を温かくお迎えし、思い出に残る大会を目指しています。両大会を成功に導くためには、皆様方の一層の御支援と御協力が是非とも必要です。

このような趣旨から、この度、両大会のボランティアや県民運動に要する経費などに充てるため、県内外の企業、団体及び個人の皆様に、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会募金」（愛称：「ミナモ募金」）をお願いすることといたしました。

皆様方には、厳しい経済事情の中、誠に恐縮に存じますが、何卒この趣旨に御賛同をいただき、格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会実行委員会

募金・企業協賛推進委員会

委 員 長 小 島 伸 夫

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会実行委員会

会 長 岐 阜 県 知 事 古 田 肇